

## 平成 29 年度 文化財調査研究報告書

## (1) 市内遺跡発掘調査事業

## ①開発工事に伴う試掘確認調査（10件）

	遺跡名	所在地	調査日	調査面積
1	阿庄遺跡第 1 次	下石町	平成 29 年 5 月 9 日	24 m <sup>2</sup>
2	妻木平遺跡第 11 次	妻木町	平成 29 年 8 月 7 日～10 日・21 日～ 23 日（49 地点） 平成 29 年 8 月 28 日（50 地点） 平成 29 年 12 月 18 日～22 日（52 地点）	48 m <sup>2</sup> 8 m <sup>2</sup> 32 m <sup>2</sup>
3	畦違遺跡第 1 次	肥田町	平成 29 年 8 月 23 日	16 m <sup>2</sup>
4	中屋敷遺跡第 10 次	泉町	平成 29 年 9 月 29 日	24 m <sup>2</sup>
5	土岐津上田遺跡第 11 次	土岐津町	平成 29 年 11 月 17 日	8 m <sup>2</sup>
6	定林寺跡第 3 次	泉町	平成 29 年 12 月 12 日	16 m <sup>2</sup>
7	曾木上田遺跡第 1 次	曾木町	平成 29 年 12 月 14 日・15 日	32 m <sup>2</sup>
8	大門遺跡第 7 次	肥田町	平成 30 年 1 月 16 日	24 m <sup>2</sup>
9	大沼遺跡第 2 次	妻木町	平成 30 年 1 月 30 日	16 m <sup>2</sup>
10	江門遺跡第 4 次	肥田町	平成 30 年 2 月 15 日	16 m <sup>2</sup>

## ②開発工事に伴う立会い調査（10件）

	遺跡名	所在地	調査日
1	土井前遺跡	土岐津町	平成 29 年 5 月 1 日
2	土岐口南町遺跡	土岐津町	平成 29 年 5 月 12 日
3	浅野館跡	肥田町	平成 29 年 5 月 15 日・25 日
4	妻木城土屋敷跡	妻木町	平成 29 年 5 月 18 日
5	浅野館跡	肥田町	平成 29 年 7 月 14 日
6	浅野館跡	肥田町	平成 29 年 8 月 29 日・9 月 1 日
7	妻木城土屋敷跡	妻木町	平成 29 年 10 月 13 日
8	大富館跡	泉町	平成 29 年 11 月 28 日
9	與治洞遺跡	肥田町	平成 30 年 1 月 18 日・28 日・29 日
10	定林寺跡	泉町	平成 30 年 2 月 28 日

③平成 23～27 年度妻木平遺跡試掘確認調査報告書作成

整理期間：平成 29 年 4 月 5 日から平成 30 年 2 月 28 日

概要：出土遺物の実測やトレース、図版組等の各作業を行い報告書を刊行した。

④平成 27・28 年度土岐市市内遺跡発掘調査報告書作成

整理期間：平成 29 年 11 月 1 日から平成 29 年 12 月 28 日

概要：出土遺物の実測やトレース、図版組等の各作業を行い報告書を刊行した。

(2)埋蔵文化財調査整理事業

①市内遺跡試掘調査出土遺物整理

- ・コンテナ整理（平成 23～27 年度妻木平遺跡試掘調査報告書分・平成 29 年度試掘調査分）

②平成 27 年度分妻木平遺跡試掘調査出土遺物整理

- ・平成 27 年度分の遺物実測、データ入力、仮図版作成を行った。

③地図情報システム管理

- ・地図情報システムの保守点検を中日本航空測量に委託し行った。また、土岐市詳細遺跡地図とシステム内データとの突合及び入力作業(平成 15～17 年度分)を行った。

(3)妻木平遺跡埋蔵文化財発掘調査整理事業

整理期間 平成 29 年 4 月 26 日から平成 30 年 3 月 16 日

整理概要 平成 25～28 年度（A 区～J 区）に行った妻木平遺跡発掘調査で出土した遺物（総数 282 箱）を縄文・弥生・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・古瀬戸・大窯・連房・近現代・中国磁器・常滑の各時期や産地別などに分類した。その後、上記分類遺物の中から図面作成を行う遺物の抽出作業を行った。抽出方法は、遺構出土遺物の内、遺構の性格や時期などを検討する上で必要なものや、遺物包含層出土遺物の内、遺跡の性格を端的に示すものや、分類別の代表的なものを中心に選択した。（抽出遺物約 4,800 点）

抽出作業後は接合及び台帳作成を行った。又、発掘調査で出土した試料の自

然科学分析（放射性年代測定や樹種同定、花粉分析など）を株式会社パレオ・ラボに委託した。放射性年代測定では、C 区で検出された堀跡内の建物が出土遺物と概ね同じである室町時代の結果が得られた。樹種同定では、D 区で検出された古墳時代の堅穴建物（2 棟）が、用いている建築材（クリ・クヌギ）に違いがみられた。この相違は周辺遺跡の事例から、遺構の性格の違いを表していると考えられる。花粉分析では、中世段階に稲作が行われ、ソバやナスの栽培がなされていたとの結果が得られた。

(4) 中山1号窯跡発掘調査整理事業

整理期間 平成29年4月14日～平成30年3月16日

整理概要 4月14日から報告書の作成に着手した。前年度から引き続く遺物の注記と接合、分類作業は6月27日に完了し、並行して調査図面類の整理を行った。計281点抽出した遺物の実測は6月28日から11月30日にかけて行い、実測図のデジタルトレース作業は12月1日から平成30年2月16日にかけて実施した。出土炭化物の分析については株式会社パレオ・ラボに、遺物・粘土の分析は土岐市陶磁器試験場に委託して行った。抽出した全遺物の写真撮影を3月7日に行い、図版組みと報告書本文の作成は3月8日に完了して、印刷製本を行った。

※ 各調査の詳しい内容については、(公財)土岐市文化振興事業団へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先：0572-55-1245】